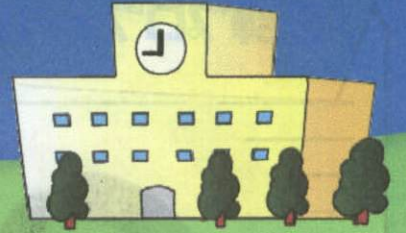


ワークショップ



子どもを知りたい 『生と死』の学び

参加費
無料

主催：NPO 法人仙台グリーンケア研究会

日時：2014年8月5日（火）

13時～17時

会場：子どもグリーンサポートステーション
仙台市青葉区中央3-6-7
東日本建物仙台駅前ビル6F

講師：尾角 光美 氏

一般社団法人リヴオン代表

定員：30名

対象：子ども・若者の教育に携わる方

締切：8月1日（金）16時まで



お申し込み方法

メールにてお申し込みください。

grieffoffice@gmail.com

件名に【8月5日研修申込】、
本文に【氏名・所属・電話番号】を
明記の上、送信してください。
右記のQRコードもご利用できます。



お問い合わせ：NPO 法人仙台グリーンケア研究会 事務局
Tel:070-5548-2186 Mail:grieffoffice@gmail.com



主催：NPO 法人仙台グリーンケア研究会

共催：NPO 法人子どもグリーンサポートステーション

講師プロフィール



尾角 光美氏
一般社団法人リヴオン代表

2003年19歳で母を自殺により亡くす。翌年より3年間、あしなが育英会で病気、災害、自殺、テロ等による遺児たちのグリーフケアに携わる。2006年以後、自殺予防や遺族のケアに関して、全国の自治体、学校などから呼ばれ、講演・ワークショップを開催し、特に自殺予防教育も兼ねた「いのちの授業」は中学生から大学生までを対象として自分と他者の「いのち」をどう支えていくのかについて考えるきっかけを届けている。

2009年リヴオン立ち上げ『102年目の母の日』（長崎出版）編著。毎年母を亡くした人たちに母の日を届ける。同年自死遺児支援スタート。昨年寺院とNPOの協働を表彰する浄土宗第5回「共生・地域文化大賞」において「共生優秀賞」受賞。リヴオンは死に直面した誰もが、必要とするサポートにつながる社会の実現を目指している。

グリーフから希望を



生と死を共に考えたとき、いのちが感じられる

子どもが経験する死にどのように対応したら良いのでしょうか？
人間は、死とどう向き合ったら良いのだろうか？

誰もが経験する人の死。児童・生徒がそれぞれに経験した人の死に向き合い、人生を生き抜く意味を考えるために、私たちができること・・・

今回のワークショップでは、教職員自身の経験や思い、感情をふり返りながら、児童・生徒にどのように寄り添い、支えるのかを考えていきたいと思います。

アクセス



会場：子どもグリーフサポートステーション

- 仙台市営地下鉄 仙台駅 中央2番出口より徒歩1分
ヤマダ電機地下のエスカレーターをご利用ください
- JR仙台駅より徒歩5分
仙台ロフトわきのペテストリアンデッキをご利用ください